防衛省・自衛隊
MINISTRY OF DEFENSE

九州防衛局広報

令和６年１２月発行（1）

きゅうしゅう

NO.68



写真：訓練準備中の部隊（南大隅町　陸上自衛隊佐多射撃場）
（提供：陸上自衛隊国分駐屯地業務隊）

目　次　CONTENTS

1. 部　隊　紹　介　：　陸上自衛隊国分駐屯地業務隊
2. 自　治　体　紹　介　：　鹿児島県　南大隅町
3. 業　務　紹　介　：　熊本防衛支局
4. インフォメーション　：　永年勤続者表彰式ほか

防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレム

九州防衛局 Kyushu Defense Bureau
https://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/
編集・発行　九州防衛局　総務部　福岡市博多区博多駅東2丁目10−7　福岡第2合同庁舎　TEL092−483−8811

１．部隊紹介

陸上自衛隊　国分駐屯地業務隊



国分駐屯地業務隊長

２等陸佐　井上博文

九州防衛局広報誌「きゅうしゅう」の読者の皆様、はじめまして。私は、陸上自衛隊国分駐屯地業務隊長の井上と申します。読者の皆様におかれましては、日頃から防衛省自衛隊の活動に関して、ご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。

今回は、「きゅうしゅう」の紙面にて、国分駐屯地業務隊の活動の一端を紹介させていただく機会をいただきましたので、読者の皆様に少しでも我々の活動を知っていただけますと幸いです。

国分駐屯地は、薩摩半島と大隅半島の付け根、鹿児島県のほぼ中央にある霧島市に位置し、南に桜島、北には霧島連峰を望み、風光明媚な駐屯地です。

国分駐屯地業務隊は、国分駐屯地に所在する部隊の一員として「地域とともに」を目標に、日々の業務に励み、地域への行事等に積極的に参加しています。また、国分駐屯地業務隊は、九州本土最南端の佐多岬の北東約２０Kmに位置する陸上自衛隊佐多射撃場（鹿児島県肝属郡南大隅町）を管理しております。佐多射撃場は、南大隅町の皆様の多大なご支援・ご協力のおかげをもちまして、今年で開設６０周年を迎えることができました。

これもひとえに地域の皆様、関係者の皆様の永年にわたるご協力の賜物であり、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

今後とも、陸上自衛隊の貴重な訓練場である佐多射撃場の管理・運営に関して、変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



部隊の活動の一端の紹介



　佐多射撃場では、洋上の目標に対する射撃、標的船に対する射撃、多目的誘導弾の射撃、対空射撃等の射撃訓練を行っています。
　射撃場自体の面積は、約２８万㎡で、射撃場地区と訓練部隊が宿泊する廠舎地区に分かれています。射撃場地区からは、晴れた日には南の大隅海峡を隔てて、種子島や屋久島を望むことができます。
　射撃訓練を行うときには、関係者の皆様のご理解とご協力を得て訓練水域が設定され、安全確実に射撃を行います。
　射撃訓練が行われるのは、夏季（例年５月下旬から９月上旬にかけて）であり、全国の陸上自衛隊部隊から延べ約１５，０００名の隊員が集まり訓練を行います。

● 佐多射撃場開設準備及び射撃訓練













● 地域への貢献【国分駐屯地夏祭りの開催、献血への協力、霧島国分夏祭り参加】







２．自治体紹介

鹿児島県
南大隅町



南大隅町長
石畑　博

町長あいさつ

南大隅町は、本土の最南端に位置し、三方を海に囲まれ、豊かな自然が多く残る町です。

地理上、半島先端部にあることから、山間や津々浦々にコミュニティが数多く形成され、約6,000の人々が暮らしています。

また高齢化率は51.3%（2024年10月現在）と、鹿児島県内で最も高くなっておりますが「町民に喜んでもらえる町づくり」を目指して、第１次産業の振興を中心とした各種事業を展開しています。

自衛隊との関わり

南大隅町には「海上自衛隊根占受信所」の外、九州地方における演習場のうち、自衛隊で唯一といわれる９６式多目的誘導弾等での射撃が可能な「陸上自衛隊佐多射撃場」があります。
特に「佐多射撃場」では、６月から１０月までの間、数千人の隊員が活動されており、旧来から地域住民との交流も多く、地域住民の方々からも大変歓迎されております。


佐多岬展望台









北緯31度線のまち
南大隅町


雄川の滝

3. 熊本防衛支局の業務紹介



熊本防衛支局は、熊本市東区の桜並木で有名な通称「自衛隊通り」の北端、陸上自衛隊西部方面総監部の北西側の一角に所在しています。

主な業務は、熊本県、宮崎県及び鹿児島県内に所在する自衛隊施設の取得、財産の管理、建設工事の実施に関する業務を行っています。

引き続き、熊本県の健軍駐屯地や宮崎県の新田原基地、鹿児島県の奄美駐屯地、鹿屋基地、馬毛島基地（仮称）等の整備等を行ってまいります。

新田原基地における建設工事について

今回は、宮崎県の航空自衛隊新田原基地に建設した「航空機給油システム（ハイドラントシステム）」について紹介します。

ハイドラントシステムとは、航空機燃料をタンクから地下配管でエプロン上の各スポットにある給油口まで送油し、航空機に直接給油する方法です。

熊本防衛支局では、燃料タンクから送油するために必要な送油ポンプ、配管などの新設を担任しました。



≪空自新田原基地の滑走路脇に新設した給油システム≫



≪航空機燃料はタンクからポンプを用いて地下に埋設された送油管を通じて航空機に給油される≫

設計にあたっては、航空機の配置、給油カ所、給油量、給油速度など、所要の性能を満たすことはもちろん、効率的な運用を考えたスペースや機能の確保などについて、航空自衛隊などと調整を行っています。

2023年3月にハイドラントシステムを新設したことにより、戦闘機の燃料補給がさらに安全・迅速に行えるようになりました。

熊本防衛支局では今後もより柔軟な部隊運用に寄与し、部隊の活動に貢献していきます。

4．インフォメーション

令和６年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式

令和６年１０月２２日（火）、米海軍佐世保基地内の「ハーバービュークラブ」において、令和６年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式が行われました。

この表彰式は、佐世保地区に所在する在日米軍の各施設に永きにわたり勤務された従業員１７３名に対し、その労をねぎらい、併せて労働意欲及び作業能率の向上を図ることを目的として、日米共催で実施されたものです。

表彰式は、日米両国の国歌吹奏から始まり、主催者挨拶として日本側を代表して江原康雄九州防衛局長から「従業員の皆様方の御労苦と御努力に対し、心から敬意を表すとともに、苦楽を共にしてこられた職場、ご家族の方々の温かいご支援に深く感謝いたします。これからも日々の活動や交流を通じ、日米両国の架け橋として、更にご尽力賜りますようお願い申し上げます。」と述べられ、また、米側を代表してマイケル・フォンテーン米海軍佐世保基地司令官から「皆さんの揺るぎない奉仕は、米海軍と日本政府、日本の自衛隊、佐世保市、西海市、およびこのコミュニティの友人や隣人との絆を強化しました。また、皆さんの日々の努力は、日本を共同で防衛し、自由で開かれたインド太平洋を維持するという我々の使命に直接貢献しています。皆さんの奉仕がそれぞれにとって大きな名誉となり、ご家族にとっても大きな誇りの源となることを願っています。」との式辞が述べられました。

続いて、勤続年数４０年、３０年、２０年、１０年の各代表者に表彰状と記念品が授与され、最後に被表彰者を代表して、米海軍日本管区司令部消防佐世保の金高　靖二氏が、「私たちは基地従業員として１０年、２０年、３０年そして４０年と長い間、健康で無事に働くことができました。これもひとえに日米両国の友好的な関係を築いていただいた関係者の皆様、また職場での温かいサポートをしてくださいました上司の方々や仲間たち、そして何よりも私達を支えてくれた家族のおかげだと思っています。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。」との答辞が述べられ、長崎県をはじめとする来賓の方々や永年勤続者の所属する職場の上司、また、ご家族の参列の下、和やかな雰囲気の中、開催することが出来ました。



▲江原康雄九州防衛局長の式辞



▲フォンテーン米海軍佐世保基地司令官の式辞



▲表彰状及び記念品の授与



▲被表彰者代表の答辞

九州防衛局長感謝状贈呈

令和６年１１月九州防衛局長は、当局業務の円滑な推進と防衛施設の安定的使用に多大な貢献をした個人３名団体３組に感謝状を贈呈しました。

感謝状を贈呈された方々は、次のとおりです。

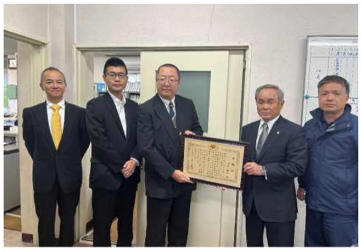
【個人】



▲屋久島町長　荒木耕治氏（左）
米空軍所属オスプレイの事故発生直後から、捜索救助・回収活動を行う米軍及び自衛隊に対し、各種支援について大きく貢献。更に、米軍と地元住民との交流の機会を設け、捜索活動等の協力に大きく貢献
（右は、江原九州防衛局長）

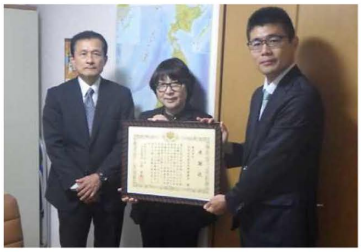


▲豊築漁業協同組合椎田町支所長
豊前海区漁業協同組合長会会長
豊田　達三氏（左）
築城飛行場訓練海面の水域設定に関し長年にわたりご理解を示し防衛施設の安定的使用に貢献、築城基地滑走路延長事業（仮称）の推進に貢献
（右は、江原九州防衛局長）



▲屋久島漁業協同組合
代表理事組合長　羽生　隆行氏（右から２番目、右は鮫島　洋一参事（兼）総務課長）
米空軍所属オスプレイの事故発生直後から漁協所属の漁船及び漁業者を墜落現場へ向かわせ、捜索救難活動及び機体の回収作業を行うなど尽力された功績は極めて大きく貢献
（中央は、江原九州防衛局長）

【団体】



▲株式会社九州住宅防音中野事務所
代表取締役　中野　照代氏（中央）
同社齋藤宮崎支店長（左）
事務手続きの補助等により、住宅防音事業の円滑な執行等に多大に寄与
（右は、九州防衛局中辻企画部長）



▲シンコウ株式会社
代表取締役社長　新宮　弘喜氏（右）
建造艦艇及び修理艦艇用の各種艤装品の開発・設計・製造・取付けを実施する等艦艇建造に大きく貢献
（左は、杉浦長崎防衛支局長）



▲ニュージャパンマリン九州株式会社
代表取締役社長　山本　茂氏（右）
護衛艦等の搭載艇として作業艇の設計・建造を行い防衛力整備に大きく貢献
（左は、杉浦長崎防衛支局長）

在日米軍従業員募集

エルモでは、在日米軍基地で勤務する従業員の募集を行っています。
興味のある方は、エルモホームページをご覧いただくか、下記の支部にお問い合わせください。

【窓口応募受付・問い合わせ先】

駐留軍等労働者労務管理機構（エルモ）佐世保支部 管理課管理係
住　　所：長崎県佐世保市平瀬町３－１
電　　話：０９５６－２３－７１９１

https://www.lmo.go.jp　LMO　検索

エルモHP　求人情報

九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

夜間及び休日の連絡先
電話：(092)483-8832　FAX：(092)472-1959

・平日は17時15分から翌朝8時30分まで、休日は終日。